

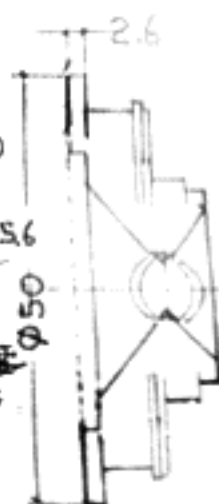
HIPOLION 8-16/19 Soft 2.8~5.6/18.5

Hypergonは1900年Goertzにより発売された。超広角140°に至るLensである。2枚の深いXコシカスLensでCOMA AST 球面湾曲、わい曲、倍率の色収差を完全に補正している。しかし球面収差、色収差はまったくFreeで日月星はf22~45と大々暗い神戸のS氏がf22 f75×1.5で4切に伸ばした写真をしたときその収差に感嘆し、いつか35×で実現したいと思うになり10年後やっと発売に至った。

Hipolion 8/19は画角100°で使い易いLensにした。f8~f16で色収差、コマコマは十分に良くf2.8~5.6では芯のある円型のフレアをもったSoft focus Lensとして使える。前に記した542差は完全に補正されているカメラボディから2.6mmの突起にDesignされ2mに2カスとすれば1m~∞(f8)にピントが合う。No.1アインワームで夜景、スナップ、建築物、風景、撮写等に中広く使用出来る。

Lens Spec

形式: HIPergon
 Mマウント (Leica)
 fL 19.5 f8~16
 Soft Focus f2.8~F5.6
 60~80cm 距離
 透視力 .30m まで
 Filter Hood 不要
 Size $\phi 50 L 2.6 \times$
 Wt 27g



Check. No. 000 試作
 SA AST focus
 OK OK OK

Soft f4 def-.9

f8 def-.5

f16 def-.35

